

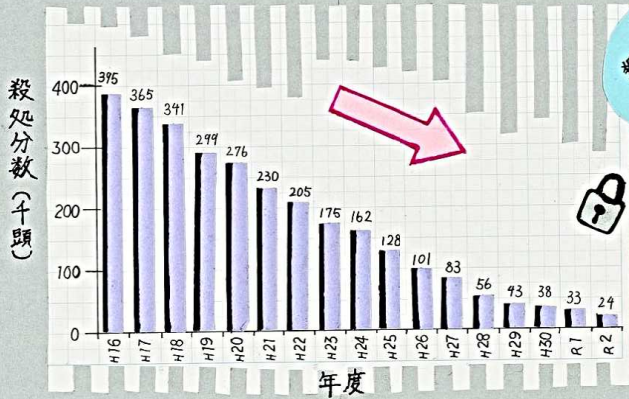
救える命



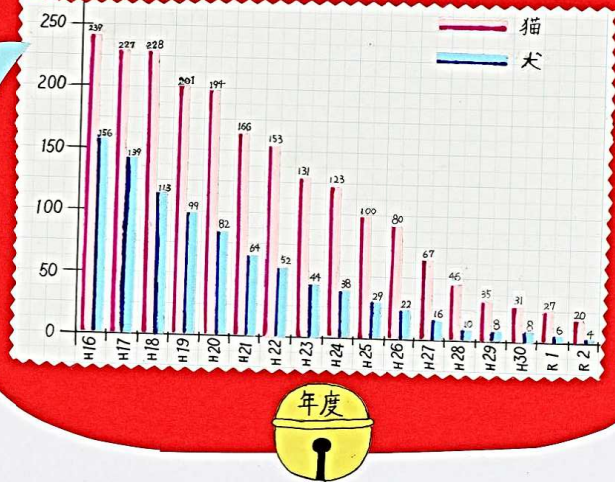
動機

私は、犬が大好きです。そんな犬が人間の利害に基づいて処分されていることを知り、悲しくなりました。昔は殺処分数がすごく高かったことを知り、今はどうなのか調べて見たいと思いました。少しでも殺処分数が減るように活動したいです。

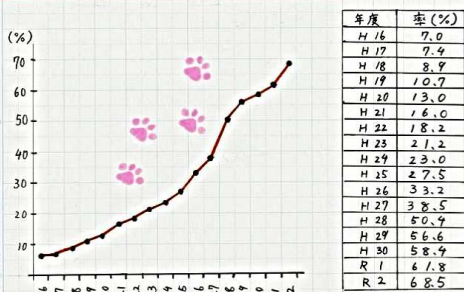
1. 犬猫の殺処分数 (H16～R2年度)



2. 犬猫別の殺処分数 (H16～R2年度)



3. 犬猫の返還・譲渡率 (H16～R2年度)



ワースト5



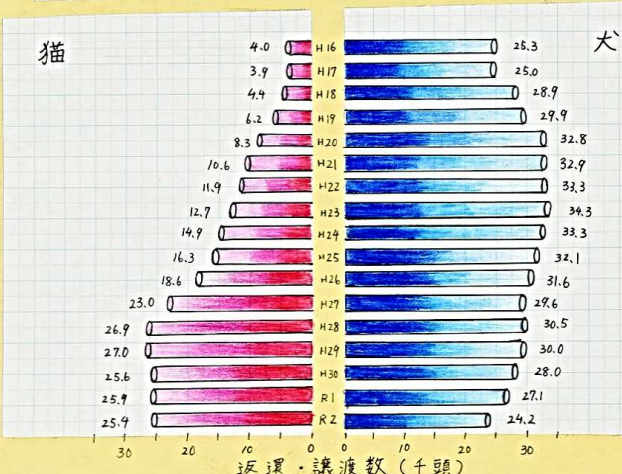
ベスト5



5. 都道府県別犬猫の殺処分率 (R2年度)



4. 犬猫別の返還・譲渡数 (H16～R2年度)



まとめ

H16年には犬猫全体で約39万5千頭が殺処分されていた。しかし、R2年度では2万4千頭にまで減少した。理由は、法改正や返還・譲渡率が増えたためと思われる。

猫の殺処分は犬より多く処分されている。理由は、野良犬は、狂犬病予防のために必ず保護される。しかし、猫の場合は、いまだ多く放置されている。そのため出産率が増え、猫全体の数が犬よりも多い。猫の収容される数に対して、返還・譲渡数が少ないため処分される数が多いと思われる。

※ 1～4のグラフ

出典：環境省「統計資料」

「平成16～令和2年度の犬猫の引取り及び処分の状況」

※ 5のグラフ&ランキング

出典：多頭飼育SOS～アニマルスマイル番川～

「令和2年度 都道府県別殺処分数ランキング」

(環境省データを元に作成)